

国際交流員ダニエルの

KANGA KOURYUU

カンガ交流



医療現場で大活躍

「オーストラリアの発明品」

オーストラリアは医学の研究に力を入れています。オーストラリアの医学研究者は、医療現場で欠かせない医療機器や、新しい治療法の発明に長けており、これまでに斬新な治療法を生み出してきた歴史があります。例えば、ペニシリンの実用化や使い捨て注射器、人工内耳、ペースメーカーなどの開発はオーストラリアでの医学研究が大きく貢献したことで有名です。

そこで今回はオーストラリアで開発された2つの医療技術を紹介したいと思います。どうぞ、楽しんで読んでください。



安全に検査できる「超音波検査装置」

最初に、超音波検査装置の開発について紹介します。1961年に、連邦超音波音響研究所の「David Robinson(デイビッド・ロビンソン)」らは「CAL」と呼ばれる超音波スキャナーを開発しました。翌年には、オーストラリア連邦科学産業研究機構「CSIRO」が、CALで測る超音波のデータを画像化する方法を開発し、体内の様子をX線より安全に、TVモニターでリアルタイムに確認できるようになりました。その後、超音波検査装置は世界に広がり、胎児の様子などを診るための方法として現在も活用されています。



やけど治療に効果的な「Spray-on Skin」

形成外科医で医学教授の「Dr. Fiona Wood(フィオナ・ウッド)」は、ひどいやけどに対して、早くて効果

O S T

オージー・スラング・タイム

オーストラリアのスラングを学ぼう



"You Beauty"

読み方 「ユー・ビューティ」

意味 「素晴らしい、いいね、すごいなど」

特に良いことがあったときに喜びを表すオーストラリアで使われているスラングです。例えば、試験に合格したときや、発明家や研究者が大発見したときなどに使います。

よく似た表現で「You little beauty!(ユー・リトル・ビューティ!）」というスラングもあり、これは、良いことをした人を褒めたり、物事がうまくいって感謝の気持ちを表したりするときに使います。

的な治療技術である「Spray-on Skin(スプレーオンスキン)」の開発を1990年に始めました。Spray-on Skinで治療するには、患者の健康な皮膚の細胞を採取し、「細胞培養」という工程で増殖させます。その後、増殖した新しい細胞から特別なスプレー液体を作り、患者の傷口に吹きかけます。



開発した当初は、Spray-on Skinのスプレー液体を培養するのに5日程度かかっていましたが、約30年間の研究で細胞培養が必要ないスプレー液体を作る技術を確認し、現在ではなんと30分で作るできるようになりました。多くの医師はSpray-on Skinの治療方法を使って患者の傷口を早く、きれいに治し、深刻な熱傷を負った患者の生存率を上げることに期待しています。

日本の研究や発明品を教えてください

医学に貢献するオーストラリアの研究者の活躍を紹介しました。日本も医学の技術と発明品の開発国として、先進国だと思います。もし皆さんが日本でもこのようなお話を知っていたら、ぜひ教えてください。